

## サバティカル期間における研究経過・成果報告書

平成27年10月02日	
国立大学法人茨城大学長 殿	
所属・職名 <u>教育学部・教授</u>	
氏 名 <u>増子 和男</u>	
下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。	
サバティカル制度を利用した期間	平成27年4月1日 ～ 平成27年9月30日

<p>①研究経過について (利用期間を月単位などに区分して、具体的な研究経過を記入して下さい。)</p>	<p>4月～6月 文献資料の収集と整理(本学図書館と母校である早稲田大学図書館を中心とした。文献資料は、関係資料を多く所蔵する早稲田大学図書館の資料に当たる事が中心となった)。8月末の和漢比較文学会の海外特別例会(中国・西北大学)の準備に当たった。 7～9月 既発表の論文の訂正と加筆を行った。複数号にまたがった論考が多いため整理に予想以上の時間がかかった。 12月中旬に早稲田大学で開催される、中国・韓国・日本の怪異譚の研究者が会するシンポジウムへの参加委嘱を受け、その準備に当たった。</p>
<p>②研究成果について (目標の達成状況及び研究成果の公表予定について記入して下さい。)</p>	<p>1. 8月31日に和漢比較文学会特別例会で「産鬼伝説考—ウブメ伝説の構成要素の検討—」という題目で発表した。これを論文化したものは、『中国詩文論叢』(中国詩文研究会)平成27年号に掲載の予定である。 2. 12月19日開催の「国際シンポジウム『東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—』」で「馳怪異譚考—日中比較の立場から—」という題目で発表を予定している。なお、この発表は、論文化して平成28年に公刊される論文集に掲載される予定である。 3. 学位論文『日中怪異譚の比較研究』を早稲田大学大学院文学研究科に提出の予定である(平成28年度末)。その後、手を入れた論文集は研文出版より公刊の予定である。</p>